

一般会計の内訳

市民 1人当たりの 歳出内訳

374,513円／人
(平成21年3月31日
現在の人口81,231人)

民生費 105,912円
高齢者や障害者、児童の福祉などに使いました

公債費 55,485円
市債(借金)の返済に使いました

総務費 43,344円
財産管理や選挙、電算運用費などに使いました

衛生費 42,061円
検診やゴミ処理の経費などに使いました

教育費 34,176円
幼稚園や小中学校、公民館などの運営費に使いました

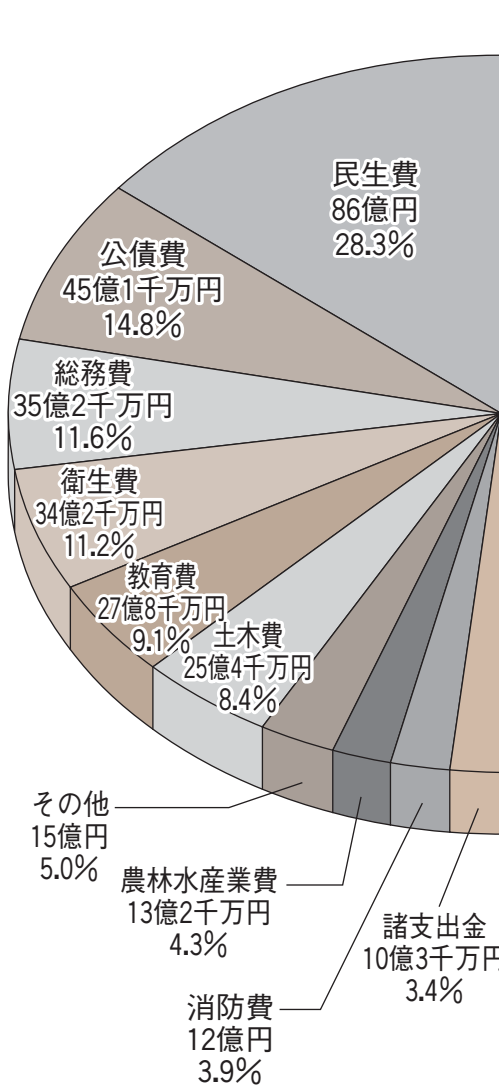
土木費 ほか 93,535円
道路の建設や補修、公園の管理、消防、商工費などに使いました

歳出

(市から出ていくお金)

304億2千万円

福祉事業などのため、民生費の割合が最も高くなっています。これは、子育てや高齢者、障害者などの福祉事業に力を入れたためです。

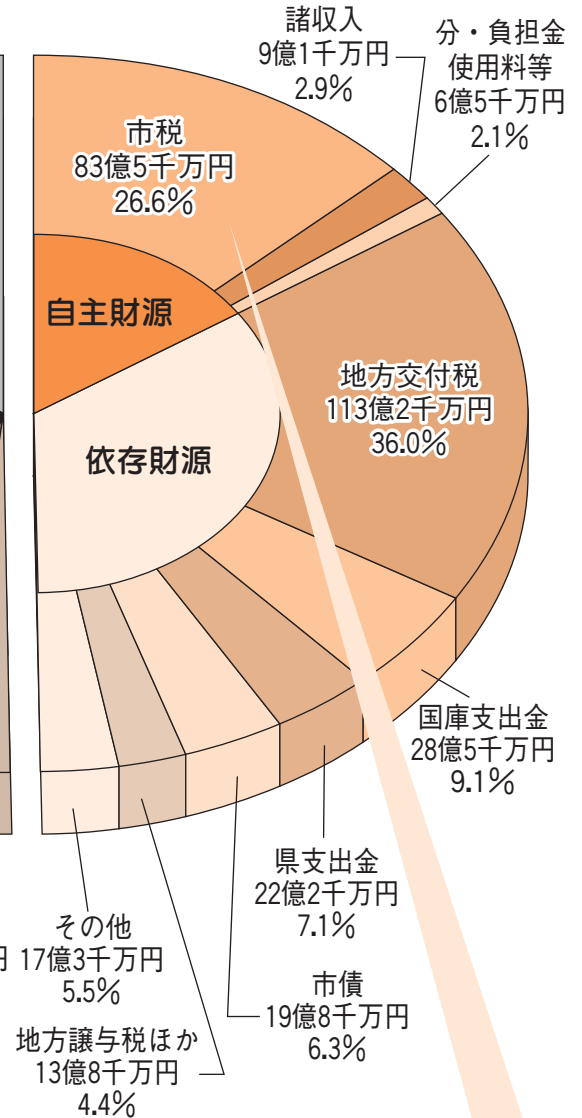


歳入

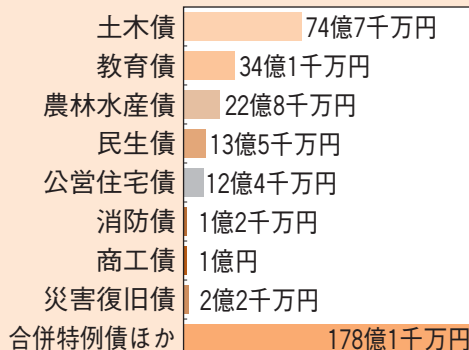
(市に入ってくるお金)

313億9千万円

市税割合が26.6%なのに対して、地方交付税割合は36%と全体の約1/3を占め、大きく依存していることが分かります。



市債の残高(計340億円)



市税の内訳(計83億5千万円)

